

■ ワークショップ ■

【日時】6月3日(土) アコーディオンワークショップ(講師:オーイン・オサリヴァン) / セッションワークショップ(講師:パット・オコナー)
【会場】都内開催予定【お申し込み/お問い合わせ】ブラックバードミュージック info@bbird-music.com

■ 信州姫木平アイリッシュミュージックキャンプ ■

【日時】6月10日(土)~11日(日)の1泊2日【会場】ペンション森の音楽家 長野県小県郡長和町姫木平 3518
【講師陣】パット・オコナー/オーイン・オサリヴァン/小松 大/望月 えりか/丸田 瑞香【参加費】20,000円(受講料+施設使用料+宿泊費+全食事付き)【定員】30名【申し込み期限】5月15日(定員となり次第募集を終了いたします)【参加対象】アイルランド音楽を学ばれている方。経験年数などは問いません。アイルランド音楽で使用される楽器を対象とします。
【お申し込み方法】1:お名前(ふりがなもご明記ください)2:参加する楽器3:メールアドレス(PCからのメールが受信可能なアドレスをお願いいたします)4:緊急時ご連絡用電話番号、以上4点をご明記の上、info@bbird-music.com(望月)までお申し込みください。



パット・オコナー (Pat O'Connor) フィドル

最も伝統音楽の盛んなアイルランド西部クレア州、エニスに生まれる。幼少の頃より音楽に親しみ、ピアノアコーディオン、バンジョー、マンドリン、ブズーキなどの楽器をこなすうち、生涯の楽器となるフィドルに出会う。93年、母の故郷に近い伝統音楽の宝庫クレア州フィーグル村に移り住み、多くの音楽家たちと衝撃的な出会いをする。その後みるみる頭角を現し2000年に初のソロアルバム、2004年にセカンドアルバムを発表、現在この地域を代表するフィドル奏者の一人。シンプルでありながらクレア東部のゆったりとした演奏スタイルに忠実なフィドル奏法、特にその弓使い(ボウイング)には天性のリズム感と歯切れの良さが映え、オリジナリティーのある音楽世界を作り上げている。パブやステージで幅広い演奏活動をするかたわら、フェスティバルなどでフィドルの講師を務める。エニスを中心にフィドルのレッスンを展開、カスティーズミュージックショップのスタッフとしても知られる。エニス音楽学校ウィーンキョール(Maoin Cheoil)フィドル部門講師。リムリックヴァイオリン製作学校在籍、コースを修了。現在フィドルの修理を手がけるフィドルのエキスパートでもある。

オーイン・オサリヴァン (Eoghan O'Sullivan) アコーディオン/ギター

アイルランド南西部コーク州、ミッチェルスタウン出身のボタンアコーディオン奏者。フィドルを弾く父に習い6歳の頃よりアコーディオンを弾き始める。コークの音楽シーンにおいて一躍注目を浴びるようになり、現在ではコーク屈指のアコーディオン奏者に数えられる。アコーディオンにとどまらず、ギター、フルート、ホイッスルとあらゆる楽器を高度にこなすマルチインストルメンタリストでもある。Gerry Harrington、Paul de Grae とのトリオとして1996年に発表されたアルバム「The Smoky Chimney」は、近代アイルランド伝統音楽の歴史に残る必聴の名盤。Connie O'Connell、Jackie Dalyらと共にアイルランド南部コーク/ケリーの音楽スタイルの貴重な継承者であり、これらの地域を中心に演奏活動続けながら、アコーディオン講師として数々のフェスティバルに迎えられている。天才的ともいえるリズム感に特徴のある演奏は、曲のスピードにかかわらず躍動感を失わない。小学校教諭を経て現在は地元ミッチェルスタウンでさまざまな楽器を対象にしたレッスンを主催、地域に密着した音楽の普及に貢献している。